

令和7年度
「運営に関する計画
年度当初

大阪市立下新庄小学校
令和7年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

生活指導部会での情報共有や月別目標や学校安心ルールに基づいた規範意識の向上の向上への取り組みと共に、生活指導部を中心とした安心・安全な学校づくりへの取り組みを進めることができた。学期ごとのいじめアンケートから認知したいじめについては、丁寧に聞き取りを行いその都度解決していくことで、年度目標は達成できている。しかし、新たないじめの訴えが出てくるものがあるのも事実である。普段から学級の様子を見守り、見逃さないように心がけるとともに問題行動に対しても生活指導部会やスクリーニング会議で共通理解を図り一貫した対応ができるよう引き続き取り組みを進めていくことが必要である。また、今後はいじめの早期発見や早期解決に向けて、スクールライフノートを活用し、学校全体でその活用法や対応の統一を考えていく必要がある。

不登校の児童に関しては、不登校の児童の割合を毎年前年度より減少させることができているが、今後も引き続き関係諸機関とも連携しながら、前年度不登校児童の改善をめざしていきたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学力向上への取り組みについては、チャレンジタイムや年間を通した計画的な反復練習を通じて、基礎・基本の学力の定着を図る取り組みを進めることができた。チャレンジタイムでのプリント学習や学習教材データの活用、一人一台パソコンのデジタルドリルの活用など基礎・基本の定着に特化し、学力の底上げを行ってきた。それでもなお定着が厳しい児童には休み時間や放課後に個別指導を行った。その結果、小学校学力経年調査における正答率が受験対象の全学年で市平均より高く、また同一の母集団で比較しても学力の定着が確認でき目標を達成することができた。学力向上には、学習意欲の向上も大切な要因となる。昨年度まで研究教科を国語科とし、読み取る力・応用する力について一定の成果を得ることができた。今後は、系統立てた取り組みを進め、すべての教科において引き続き対話的学びを取り入れていく必要がある。コロナ禍の影響によりここ数年体力の低下が見られた。体力の向上について、休み時間や体育の授業の中で積極的に体を動かすことのできる時間の確保や学年スポーツ大会を企画するなど、運動に興味・関心が高まる工夫を取り入れ進めてきた結果、昨年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査等結果の体力合計点においては、大阪市・全国を共に上回った。しかし校内アンケートにおける「運動することが好き」と最も肯定的に回答する児童の割合は昨年度よりも減少しており目標を達成することはできなかった。引き続き、運動の楽しさにふれあうことのできる機会をもてる取り組みを進めていくことで「運動することが好き」と思える児童を増やしていきたいと考える。

【学びを支える教育環境の充実】

学習者用端末の活用率は上がったが、全体的には「心の天気」や「ナビマ」などの使用頻度が高く、対話的で深い学びにつながる有効的活用には至っていない。今後は、協働的な学びをめざしＩＣＴ機器の有効活用を進めていきたい。

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度の全国・学力学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

R4 : ③91.4% ④84.9% ⑤83.3% ⑥85.2% Ave 86.2%
R5 : ③81.0% ④94.3% ⑤77.6% ⑥66.7% Ave 79.9%
R6 : ③84.2% ④87.7% ⑤91.9% ⑥81.8% Ave 86.4%
R7 : ③ % ④ % ⑤ % ⑥ % Ave %

○毎年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を毎年、前年度より減少させる。

R3: 0.62% R4: 2.73%
R5 (中間) : 3.20% R5 (年度末) : 3.62%
R6 (中間) : 2.06% R6 (年度末) : 3.05%
R7 (中間) : % R7 (年度末) : %

○毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年増加させる。

R3: 0.0% R4: 0.0%
R5 (中間) : 0.0% R5 (年度末) : 0.0%
R6 (中間) : 0.0% R6 (年度末) : 0.0%
R7 (中間) : 0.0% R7 (年度末) : 0.0%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている」との項目について、最も肯定的に答える児童の割合を55%以上にする。

経年調査 : R4 : ③51.4% ④47.2% ⑤31.3% ⑥42.6% Ave 43.1%
経年調査 : R5 : ③50.0% ④40.0% ⑤37.3% ⑥33.3% Ave 40.2%
経年調査 : R6 : ③34.2% ④57.9% ⑤45.9% ⑥40.9% Ave 44.7%
経年調査 : R7 : ③ % ④ % ⑤ % ⑥ % Ave %

校内調査 : R4 (中間) : 44.4% R4 (年度末) : 45.3%
校内調査 : R5 (中間) : 42.1% R5 (年度末) : 40.9%
校内調査 : R6 (中間) : 51.1% R6 (年度末) : 50.2%
校内調査 : R7 (中間) : % R7 (年度末) : %

○令和7年度の全国・学力学習状況調査の平均正答率5割以下の児童を令和3年度より4ポイント減少させる。

R4 : 国語 46.2% 算数 46.2%
R5 : 国語 46.2% 算数 48.9%
R6 : 国語 45.6% 算数 45.6%
R7 : 国語 % 算数 %

○小学校の学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な好きと回答する児童の割合を85%以上にする。

R4 : ③85.7% ④71.7% ⑤60.4% ⑥50.0% Ave 67.0%

R5 : ③86.2% ④94.3% ⑤92.2% ⑥75.6% Ave 87.1%

R6 : ③55.3% ④75.4% ⑤89.2% ⑥70.5% Ave 72.6%

R7 : ③ % ④ % ⑤ % ⑥ % Ave %

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して学習をしている」の項目について「週1回以上」と答える児童の割合を80%にする。

R4 (中間) : 69.6% R4 (年度末) : 72.7%

R5 (中間) : 84.3% R5 (年度末) : 86.2%

R6～「心の天気やナビマなどで、学習者用端末（一人一台端末）を活用して学習をしていますか」

R6 (中間) : 94.0% R6 (年度末) : 93.0%

R7 (中間) : % R7 (年度末) : %

○学校閉学日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては、1日以上設定する。

R4: 夏季休業中3日、それ以外の休業期間2日

R5: 夏季休業中3日、それ以外の休業日期間2日

R6: 夏季休業中3日、それ以外の休業日期間0日

R7: 夏季休業中 日、それ以外の休業日期間0日

○時間外勤務については、月45時間超え勤務の教職員数を6名以下に減らす。

R4: ④6名⑤8名⑥12名⑦0名⑧0名⑨7名⑩6名⑪4名⑫2名⑬1名⑭1名

R5: ④8名⑤7名⑥8名⑦3名⑧0名⑨7名⑩6名⑪5名⑫5名⑬2名⑭5名⑮4名

R6: ④6名⑤4名⑥3名⑦4名⑧0名⑨3名⑩5名⑪3名⑫3名⑬1名⑭3名⑮2名

R7: ④名⑤名⑥名⑦名⑧名⑨名⑩名⑪名⑫名⑬1名⑭2名⑮3名

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小学校）

○小学校経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

R4 : ③91.4% ④84.9% ⑤83.3% ⑥85.2% Ave 86.2%

R5 : ③81.0% ④94.3% ⑤77.6% ⑥66.7% Ave 79.9%

R6 : ③84.2% ④87.7% ⑤91.9% ⑥81.8% Ave 86.4%

R7 : ③% ④% ⑤% ⑥% Ave %

○年度末の校内調査において、不登校の児童の在籍比率を前年度より減少させる。

R3: 0.62% R4: 2.73%

R5（中間）: 3.20% R5（年度末）: 3.62%

R6（中間）: 2.06% R6（年度末）: 3.05%

R7（中間）: % R7（年度末）: %

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年増加させる。

R3: 0.0% R4: 0.0%

R5（中間）: 0.0% R5（年度末）: 0.0%

R6（中間）: 1.14% R6（年度末）: 0.57%

R7（中間）: % R7（年度末）: %

学校園の年度目標

○令和7年度の校内調査の「学校のきまりを守っていますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。

R4（中間）: 94.8% R4（年度末）: 96.0%

R5（中間）: 89.7% R5（年度末）: 89.0%

R6～「学校のきまりを守ることができますか」

R6（中間）: 91.4% R6（年度末）: 90.3%

R7（中間）: % R7（年度末）: %

○校内アンケートの「学校は楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を97%以上にする。

R4（中間）: 91.3% R4（年度末）: 92.4%

R5（中間）: 89.7% R5（年度末）: 89.0%

R6（中間）: 94.0% R6（年度末）: 96.1%

R7（中間）: % R7（年度末）: %

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を55%以上にする。

経年調査 : R4 : ③51.4% ④47.2% ⑤31.3% ⑥42.6% Ave 43.1%

経年調査 : R5 : ③50.0% ④40.0% ⑤37.3% ⑥33.3% Ave 40.2%

経年調査 : R6 : ③34.2% ④57.9% ⑤45.9% ⑥40.9% Ave 44.7%

経年調査 : R7 : ③% ④% ⑤% ⑥% Ave %

(様式2)

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比をいずれの学年も上回る。

R4国語：④99.8→100.8 (1.0) ⑤103.9→104.5 (0.6) ⑥100.3→101.6 (1.3)

R4算数：④100.2→100.6 (0.4) ⑤104.6→103.6 (▲1.0) ⑥101.6→102.1 (0.5)

(対大阪市 平均正答率)R5国語：③101.9 ④104.5 ⑤101.0 ⑥102.9

(対大阪市 平均正答率)R6国語：③102.3 ④102.8 ⑤103.1 ⑥102.0

(対大阪市 平均正答率)R7国語：③④⑤⑥

(対大阪市 平均正答率)R5算数：③103.8 ④101.6 ⑤101.1 ⑥101.8

(対大阪市 平均正答率)R6算数：③100.9 ④103.8 ⑤103.7 ⑥101.0

(対大阪市 平均正答率)R6算数：③100.9 ④103.8 ⑤103.7 ⑥101.0

(対大阪市 平均正答率)R7算数：③④⑤⑥

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を85%以上にする。

経年調査：R4：③85.7% ④71.7% ⑤60.4% ⑥50.0% Ave 67.0%

経年調査：R5：③86.2% ④94.3% ⑤92.2% ⑥75.6% Ave 87.1%

経年調査：R6：③55.3% ④75.4% ⑤89.2% ⑥70.5% Ave 72.6%

経年調査：R7：③% ④% ⑤% ⑥% Ave %

学校園の年度目標

○令和7年度の校内調査の「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的な回答をする児童の割合を94%以上にする。

R4（中間）：94.1% R4（年度末）：96.0%

R5（中間）：93.5% R5（年度末）：95.3%

R6（中間）：93.2% R6（年度末）：93.8%

R7（中間）：% R7（年度末）：%

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の53%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

【R6 新設定】

R6 学習者用端末活用率（月平均）：5月：71.5%、6月：80.3%、7月：83.1%

80%以上の日数：5月：33.3%、6月：73.7%、7月：92.3%

80%以上の日数割合：52.4%

○教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を88%以上にする。

〔1年間の時間外勤務時間が720時間以下、時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下、時間外勤務時間が100時間を超える月数0、直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0、を全て満たす。〕

【R6 新設定】

R7 2月時点 達成率 87.5%

R8 2月時点 達成率 %

○地域学校協働本部やコミュニティースクールなどの仕組みを生かして、学校の美化や登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との共同による活動をおこないましたか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を94%以上にする。

R4（中間）：81.8% R4（年度末）：91.7%

«学校アンケート»地域の人と取り組む活動（授業）に参加するのは楽しいですか。

R5（中間）：88.1% R5（年度末）：92.5%

«学校アンケート»学校は、地域・保護者のかたと取り組む活動・授業を行っていますか。

R6（中間）：88.1% R6（年度末）：93.8%

R7（中間）：% R6（年度末）：%

3 本年度の自己評価結果の総括

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】	
○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。	<p>R4 : ③91.4% ④84.9% ⑤83.3% ⑥85.2% Ave 86.2% R5 : ③81.0% ④94.3% ⑤77.6% ⑥66.7% Ave 79.9% R6 : ③84.2% ④87.7% ⑤91.9% ⑥81.8% Ave 86.4% R7 : ③% ④% ⑤% ⑥% Ave %</p>
R 4～R 6まで	
○小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。	<p>R4 : ③100.0% ④96.2% ⑤95.8% ⑥96.3% Ave 97.0% R5 : ③86.2% ④100.0% ⑤92.2% ⑥88.9% Ave 89.3% R6 : ③100.0% ④94.7% ⑤100.0% ⑥95.5% Ave 97.6%</p>
R 7～～	
○校内アンケートにおける「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。	<p>R6（中間）: ①86.0% ②94.3% ③81.1% ④78.3% ⑤86.1% ⑥82.9% Ave 84.2% R6（年度末）: ①87.7% ②97.1% ③86.8% ④77.8% ⑤94.4% ⑥68.4% Ave 84.8% R7（中間）: ③% ④% ⑤% ⑥% Ave % R7（年度末）: ③% ④% ⑤% ⑥% Ave %</p>
○校内アンケートにおける「学校のきまりを守ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。	<p>R4（中間）: 94.8% R4（年度末）: 96.0% R5（中間）: 89.7% R5（年度末）: 89.0% R6（中間）: 91.4% R6（年度末）: 90.3% R7（中間）: % R6（年度末）: %</p>
○校内アンケートにおける「学校は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を97%以上にする。	<p>R4（中間）: 91.3% R4（年度末）: 92.4% R5（中間）: 89.7% R5（年度末）: 89.0% R6（中間）: 94.0% R6（年度末）: 96.1% R7（中間）: % R7（年度末）: %</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールライフノートやいじめアンケートを活用して、いじめの早期発見、早期解決に取り組み、いじめはどんな理由があってもいけないことであるという態度を育てる。 ・「いじめについて考える日」に、児童朝会で話を聞いた後、感想を書くなど学年に応じた取り組みを行う。 	
指標 校内アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に取り組む活動や地域・ゲストティーチャーと共に取り組む活動、異学年交流や体験的な活動、学校行事など児童が主体的に取り組む活動を実施し、魅力ある学校づくりを通して学校が楽しいと思う児童を増やす。 	
指標 校内アンケートにおける「学校は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を97%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none"> ・月別目標や学校安心ルールをもとに学校のきまりを守ることを周知し、安全に安心して学校生活が送ることのできる環境づくりに取り組む。 ・委員会での活動の中で、学校のきまりについての呼びかけを行うなど、学校のきまりについて意識して学校生活を送ることができるような取り組みを実施する。 	
指標 校内アンケートにおける「学校のきまりを守ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。	
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ・異学年や学級でのグループ活動や行事、道徳や人権教育を通して、人と交流しながら互いを認めあい、思いやる心を育てる。 	
指標 校内アンケートにおける「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を86%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（後期）への改善点	

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】	
○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」にと回答する児童の割合を55%以上にする。	<p>R4 : ③51.4% ④47.2% ⑤31.3% ⑥42.6% Ave 43.1% R5 : ③50.0% ④40.0% ⑤37.3% ⑥33.3% Ave 40.2% R6 : ③34.2% ④57.9% ⑤45.9% ⑥40.9% Ave 44.7% R7 : ③% ④% ⑤% ⑥% Ave %</p>
○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比をいずれの学年も上回る。	<p>(対大阪市 平均正答率)R5国語 : ③101.9 ④104.5 ⑤101.0 ⑥102.9 (対大阪市 平均正答率)R5算数 : ③103.8 ④101.6 ⑤101.1 ⑥101.8 (対大阪市 平均正答率)R6国語 : ③102.3 ④102.8 ⑤103.1 ⑥102.0 (対大阪市 平均正答率)R6算数 : ③100.9 ④103.8 ⑤103.7 ⑥101.0 対大阪市 平均正答率)R7国語 : ③ ④ ⑤ ⑥ (対大阪市 平均正答率)R7算数 : ③ ④ ⑤ ⑥</p>
○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を85%以上にする。	<p>R4 : ③85.7% ④71.7% ⑤60.4% ⑥50.0% Ave 67.0% R5 : ③86.2% ④94.3% ⑤92.2% ⑥75.6% Ave 87.1% R6 : ③55.3% ④75.4% ⑤89.2% ⑥70.5% Ave 72.6% R7 : ③% ④% ⑤% ⑥% Ave %</p>
○令和6年度の校内調査の「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的な回答をする児童の割合を94%以上にする。	<p>R4（中間）: 94.1% R4（年度末）: 96.0% R5（中間）: 93.5% R5（年度末）: 95.3% R6（中間）: 93.2% R6（年度末）: 93.8% R7（中間）: % R7（年度末）: %</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 ・知識に関する理解力や活用力を高め、対話的深い学びに向けての授業改善に取り組む。 (様々な問題に取り組む機会を作ったり、研究教科だけでなく他教科でも対話を取り入れたりする。)		
指標 全員授業の実施とともに学年の授業実践に取り組み、校内調査や学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を55%以上にする。	<p>校内調査：R5（中間）：42.1% R5（年度末）：40.9%</p> <p>校内調査：R6（中間）：51.1% R6（年度末）：50.2%</p> <p>校内調査：R7（中間）：% R7（年度末）：%</p> <p>経年調査：R5：③50.0% ④40.0% ⑤37.3% ⑥33.3% Ave 40.2%</p> <p>経年調査：R6：③34.2% ④57.9% ⑤45.9% ⑥40.9% Ave 44.7%</p> <p>経年調査：R7：③% ④% ⑤% ⑥% Ave %</p>	
取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 ・チャレンジタイムや年間を通した計画的な反復練習を通じて、継続的な基礎基本の学力の定着を図り、学力の向上に取り組む」		
指標 小学校学力経年調査における国語および算数の標準化得点をいずれの学年も上回るようにする。 (単元評価問題や音読、漢字、問題集、学習教材データ、ICT機器の活用を図る)	<p>R5国語：③101.9 ④104.5 ⑤101.0 ⑥102.9</p> <p>R6国語：③106.7 ④104.3 ⑤106.2 ⑥100.6</p> <p>R7国語：③ ④ ⑤ ⑥</p> <p>R5算数：③103.8 ④101.6 ⑤101.1 ⑥101.8</p> <p>R6算数：③100.3 ④113.3 ⑤114.8 ⑥101.2</p> <p>R7算数：③ ④ ⑤ ⑥</p>	
取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】 ・運動することの楽しさにふれあう機会を確保し、運動することに興味・関心を高めることができるような取り組みを実施する。		
指標 小学校学力経年調査や校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を85%以上にする。	<p>校内調査：R5（中間）：67.8% R5（年度末）：70.1%</p> <p>校内調査：R6（中間）：68.8% R6（年度末）：72.8%</p> <p>校内調査：R7（中間）：% R7（年度末）：%</p> <p>経年調査：R5：③86.2% ④94.3% ⑤92.2% ⑥75.6% Ave 87.1%</p>	

経年調査：R6：③55.3% ④75.4% ⑤89.2% ⑥70.5% Ave 72.6%

経年調査：R7：③% ④% ⑤% ⑥% Ave %

取組内容④【基本的な方向 5、健やかな体の育成】

- ・食育の授業や栄養指導の授業を通して、自らの食生活を振り返り、規則正しい生活を身につけることができるような取り組みを実施する。

指標 校内調査の「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的な回答をする児童の割合を94%以上にする。

R5（中間）：93.5% R5（年度末）：95.3%

R6（中間）：93.2% R6（年度末）：93.8%

R7（中間）：% R7（年度末）：%

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度(後期)への改善点

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】	
○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の53%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕	
R6 学習者用端末活用率（月平均）：5月：71.5%、6月：80.3%、7月：83.1%	
80%以上の日数：5月：33.3%、6月：73.7%、7月：92.3%	
80%以上の日数割合：52.4%	
○教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を88%以上にする。 〔1年間の時間外勤務時間が720時間以下、時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下、時間外勤務時間が100時間を超える月数0、直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0、を全て満たす。〕	
R7 2月時点 達成率 87.5%	
○校内調査の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。	
R4（中間）：85.0% R4（年度末）：88.5%	
R5（中間）：88.9% R5（年度末）：87.0%	
R6（中間）：88.9% R6（年度末）：85.6%	
○地域学校協働本部やコミュニティースクールなどの仕組みを生かして、学校の美化や登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との共同による活動をおこないましたか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を94%以上にする。	
R4（中間）：81.8% R4（年度末）：91.7%	
『学校アンケート』地域の人と取り組む活動（授業）に参加するのは楽しいですか。	
R5（中間）：88.1% R5（年度末）：92.5%	
『学校アンケート』学校は、地域・保護者のかたと取り組む活動・授業を行っていますか。	
R6（中間）：88.1% R6（年度末）：93.8%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6、教育DX】 ・一人一台の学習端末の活用に積極的に取り組む。 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の53%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕	

<p>指標 校内調査の「心の天気やナビマなどで学習者用端末を活用している」の項目について肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回のゆとりの日の設定や学校閉庁日の計画的な設定を通して教職員の働きやすい環境を整える。 	
<p>指標 ゆとりの日については、週1回設定する。</p> <p>学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては、1日以上設定する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進に向けて読書環境の整備を行い、読書習慣の形成に取り組み読書好きな子どもの育成に取り組む。（図書委員会を中心として読書への関心を高める取り組みを進め。図書室開放・図書の紹介等） 	
<p>指標 校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を86%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向9、家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</p> <p>社会福祉協議会や地域活動協議会などの地域の関係諸団体や地域ボランティア、地域人材を活用し、児童と地域のつながりができる取り組みを実施する。</p>	
<p>指標 地域学校協働本部やコミュニティースクールなどの仕組みを生かして、学校の美化や登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との共同による活動をおこなう。」校内調査の「学校は、地域・保護者の方と取り組む活動・授業を行っていますか。」の項目について肯定的に回答する児童・生徒の割合を94%以上にする。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>次年度（後期）への改善点</p>